

# 【基調講演（プログラム#1）】 何故、日本で自動車産業が栄えたのか？

10月30日（水） 9:40～10:35

ファシリテーター

古橋 賢一  
カワサキモータース（株）

スピーカー

藤本 隆宏  
特定非営利活動法人日本自動車殿堂

## 自動車産業の進化：過去、現在、そして未来

**スピーカー：藤本 隆宏**  
**（特定非営利活動法人日本自動車殿堂）**

19世紀後半から21世紀初頭の自動車産業の進化に、産業分析のCAP(Capability-Architecture-Performance)アプローチを適用する。ものづくり現場と製品を産業の2つの基底単位として分析する。産業も企業も、産業現場の集合体であると同時に、製品の集合体でもある。CAPフレームワークは、現場の組織能力と製品/プロセスのアーキテクチャ（設計思想）の間の動的な適合が、持続可能な競争優位を生み出すと予想する。

ここでは、付加価値を担う設計情報の流れ、深層競争力・表層競争力・収益力、設計の比較優位、インテグラル/モジュラー・アーキテクチャ、多能工のチームワーク、統合型組織能力の構築、進化能力、産業ライフサイクル、アーキテクチャの進化など